

「笑顔で支え合う・思いやる」

ねらい…大きな災害や、思いもかけない事が起こる時こそ、家庭や地域ぐるみで「笑顔で」「支え合う」「思いやる」生き方を大切にしたいという思いが生まれてきます。今年度の公開講座は、それらの言葉をキーワードに、この倉吉という地域で寄り添い、助け合い、笑顔で生き切るために、今の私たちにできることは何か、専門的な学術研究の知見から学び、一緒に考えてみたいと思います。



くすあけ

対象者

どなたでも参加できます

開催期間

平成29年6月23日(金)
～9月15日(金)《全5回》

開催時間

13:30～15:00

開催会場

倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
(倉吉市駄経寺町187-1)
〈Tel 0858-47-1181〉

受講料

無 料

申込・問い合わせ先

鳥取看護大学・鳥取短期大学
グローバルセンター

倉吉市福庭854

〈Tel:0858-27-0107 Fax:0858-26-9138〉

とっとり県民カレッジ連携講座です

1回

フランスに見る
共生的な社会とは

6/23(金) 13:30～15:00

講師 京都産業大学 現代社会学部 教授 藤野 敦子

2回

地域で暮らし生ききる

7/21(金) 13:30～15:00

講師 鳥取看護大学 看護学部看護学科 教授
矢倉 紀子

3回

生きがいの経済学
～終活に向けた生活設計～

8/4(金) 13:30～15:00

講師 元鳥取短期大学 生活学科 教授 野津 和功

4回

看護の人間学
～寄り添い～

8/18(金) 13:30～15:00

講師 鳥取看護大学 看護学部看護学科 教授 荒井 優

5回

心にいつも歌を

9/15(金) 13:30～15:00

講師 鳥取短期大学 幼児教育保育学科 教授
白石 由美子

主催：学校法人 藤田学院・倉吉市教育委員会

1回

テーマ フランスに見る
共生的な社会とは

講師 藤野敦子

私がフランスにいたとき、「コンヴィヴィアル」というフランス語をよく聞きました。日本語に訳するのが難しい言葉です。「皆が打ち解けた」とか「共生的な」という意味合いです。フランスは個人主義の社会というイメージを持たれがちですが、フランスにいと人と人の助け合いや家族・地域住民のつながりを大切にするコンヴィヴィアルな社会であることに気づきます。この講座では、つながりをキーワードとした「フランスの出来事」や「フランス人の行動」などを紹介しながら、共生的な社会づくりのヒントを探ってみたいと思います。

2回

テーマ 地域で暮らし
生ききる

講師 矢倉紀子

人は誰でもみな平等に老い、その先には必ず死が訪れます。人の幸せは人生の最終章に「生まれてきてよかった」「生きてきてよかった」「生ききった」と思えることではないでしょうか。老いの喪失を嘆かず、老いの到来を恐れず、この地域で暮らしてよかったと思える老いについて、皆様と一緒に考えてみたいと思っています。

3回

テーマ 生きがいの経済学
～終活に向けた
生活設計～

講師 野津和功

いま「終活（しゅうかつ）」という言葉が話題になっています。「終活」とは、人生の終りに向けて行う準備活動のことです。ここ数年、家族や周囲の人びとに迷惑をかけないようにと、自分が死んだ後の葬儀や墓を事前に準備する人が多くなっています。さらに最近では、「終活」を人生の最終段階の生活設計ととらえる考え方が広がってきています。これからどのような人生を過ごしたいか、そのために自分の財産をどう使うかなど、自分らしい生きがいのある「終活」を一緒に考えてみましょう。

4回

テーマ 看護の人間学
～寄り添い～

講師 荒井優

近年、多くの病院や医療施設で、寄り添う看護の重要性が説かれています。「寄り添う」という言葉は、とてもニュアンスに富んだ言葉ですが、それだけに曖昧さを含んでいます。看護の場面で求められる「寄り添い」とはどのような姿勢なのでしょう？ とくに、患者が勇気づけられ癒されるような寄り添いとはどのような対応なのでしょう？ さまざまな事例を紹介しながら、哲学の観点から「寄り添い」について考えてみます。

5回

テーマ 心にいつも歌を

講師 白石由美子

歌には時空を超えてどんな世界にでもあなたを連れて行ってくれる不思議な力があります。音痴なんて平気、怖くない。歌える人だけのものではないはず。難しいことを言わないで、あなたの好きな歌から始めましょう。懐かしい歌、歌いたい歌、聴きたい歌があったら沢山リクエストをしてください。ご一緒に挑戦しましょう。

